法政大学教育開発支援機構　教育開発・学習支援センター

NEWS LETTER

2026.10.5
Vol.2

プレFDとは

プレFD（Faculty Development）とは、大学教員を目指す大学院生・ポストドクター等のキャリア支援を目的とした活動のことです。教育開発・学習支援センター（LFセンター）では、2022年度より博士後期課程在学中の学生に向けてプレFDプログラムを実施しています。

本号では、プレFDプログラムの内容と2026年度春学期修了者の声をご紹介します。

プレFDプログラムの概要（３つの取り組み）



プレFDプログラムは、授業運営スキルの修得 → 授業運営の実践 → 実践へのフィードバックの流れで、以下3つの内容で構成されています。

①学部授業参観
「学生が選ぶベストティーチャー賞」を受賞した教員（殿堂入り含む）の授業や、その他希望する教員の授業を参観することで、授業実施における工夫や手法等を学びます。

②Lステゼミ
授業運営の実践の場として、Lステゼミの講師として登壇します。Lステゼミとは、学習ステーションが主催する、本学学生を対象に行うショートゼミです。多様なテーマについて、気軽に学ぶ機会を学生に提供することを目的として実施しています。さまざまな所属・学年の学生に対して、授業運営の工夫を実践する機会となります。

③授業リフレクションのための学生による授業参観
事前に研修を受けた学生FDスタッフに上記②Lステゼミを参観してもらい、授業の進め方等（話し方・板書方法等）に関する学生視点の意見をフィードバックしてもらいます。
学生からのフィードバックを受けて得た気づきを、今後の授業運営に役立てます。

プログラム修了により、(1)本学の紀要への投稿が可能になる、(2)プレFD修了者として本学兼任講師の候補者となる、(3)オープンバッジ（デジタル証明書）が発行される、といったメリットがあります。

「プレFDプログラム」修了者インタビュー

2026年度春学期は人文科学研究科の大島結生さんがプレFDプログラムを修了しました。7月16日（木）にオンラインにてインタビューを実施し、プログラム全体の振り返りを行うとともに、担当教員からのアドバイスもありました。また、今後のプログラム発展に向けて、改善点なども確認することができ、貴重な機会となりました。

対象者：大島結生さん（人文科学研究科 史学専攻 博士後期課程3年）
インタビュアー：タナカジェイ准教授（経済学部・LFC学習サポートユニット・メンバー）
出席者：沖田　士（大学院事務部大学院課・LFC学習サポートユニット・メンバー）
　　土屋貴之（学務部学務課長・ LFC学習サポートユニット・メンバー）


Lステゼミ実施の様子

■インタビュー内容（抜粋）

（１）参加に至った背景
秋学期から他大学にて大学院生向けの授業を担当することが決まっており、その準備と実践の場として申し込みました。

（２）各取り組みについて

①学部授業参観
西洋史の授業を参観しました。担当教員は日本史の事例も3-4割ほど織り交ぜており、日本史選択の学生にも配慮した授業設計が印象的でした。自身の学生時代と比べ、視覚資料が充実した「親切な授業」への変化を実感し、現在の学部レベルを知る機会となりました。

②Lステゼミ
19世紀初頭にイギリスで出版された小型の木版挿絵本「チャップブック」を読むというゼミをしました。参加者の反応がないと不安から説明過多になり、授業が「研究発表」化してしまう自身の傾向に気づくことができました。一方でチャップブックの魅力を知ってもらうという最大の目的は達成できました。終了後に参加者が興味を持って質問に来てくれ、ゼミ内容が伝わっていたことも分かり嬉しかったです。

③授業リフレクションのための学生による授業参観
大学院レベルのゼミで参加者も多くが大学院生でしたが、参観学生は学部生だったため、期待していた視点でのフィードバックとは乖離が生じました。単に「わかりやすさ」を追求するだけでなく、学問の持つ複雑性をそのまま伝えることの重要性について再認識しました。

（３）プログラムの改善点・要望
Lステゼミは初心者歓迎とされていましたが、専門性が高い分野では参加者の知識レベルの差が大きいため、「初心者」の定義を明確にするか、対象者のレベルや学部を絞って実施できると、より実践的なリハーサルの場として活用しやすくなると感じました。